

I. 運営委員会報告

以下の日程でメール審議を実施した。

1. [H29-005: 採決・報告] 故亀井裕幸氏からの寄付金の予算執行計画の作成について審議し、承認された（審議期間 2017 年 11 月 28 日から 12 月 7 日）。2017 年度特別会計収支予算（案）の書式の修正について報告が行われた。
2. [H29-006: 採決・報告] フォーラム「海岸林から考えるふるさと・里浜の復興デザイン」の後援について審議し、承認された（審議期間 2017 年 12 月 21 日から 12 月 30 日）。
3. [H30-001: 採決] フォーラム「自然と歴史を活かした防災・減災—東日本大震災の学びを備える側と共有する—」の後援について審議し、承認された（審議期間 2018 年 4 月 25 日から 5 月 2 日）。

II. 企画委員会報告

1. 「シカと植生の全国アンケート調査」を 2018 年 3 月付けで植生学会ホームページ (<http://shokusei.jp/sika.html>) で公開し、現在、データ収集しているところである。（主担当: 前迫, 協力: 学会ホームページ掲載, 世話人参照）
2. 東日本大震災に関連した海岸植生モニタリング調査については、ワーキンググループを組織し、調査体制を整えた。また、関連するフォーラムとして、(1) 2018 年 2 月 24 日には「海岸林から考える ふるさと・里浜の復興デザイン」を仙台市で、(2) 5 月 26 日には「自然と歴史を活かした防災・減災 —東日本大震災の学びを備える側と共有する—」を浜松市で、植生学会の後援を受けて実施された。（主担当: 平吹, 協力: 島田, 大淵, 原）
3. 植生学会トレーニングスクールは、沖縄学会開催後、実施され（15 名申し込み）、無事、終了した。2018 年度宇都宮大会においても実施予定である。（主担当: 島野, 協力: 吉川, 川西）
4. 2018 年後期には新潟大学佐渡ステーション演習林でトレーニングスクールを開催の予定である。修了証発行について検討しているところである。（主担当: 崎尾）
5. 植生学会ホームページで植生データの公開体制をとることについて、すでにデータベース構築を進めておられる横浜国立大学小池氏と意見交換した。今後、植生学会ホームページ上のデータベース公開に向けて前向きに検討する予定である。
6. 第 65 回 日本生態学会大会（札幌）自由集会において群落談話会「断片化した植物集団の遺伝的地域性と多様性保全」

（コーディネーター 前迫）（於: 札幌コンベンションセンター 日時: 2018 年 3 月 14 日 18 ~ 20 時）を企画・開催した。

III. 学会事務局報告

植生学会誌 34 巻 2 号（2017 年 12 月発行）の学会記事に誤りがありましたので、次のとおり訂正します。

1. 「V. 2017 年度総会報告」の日程
正) 2017 年 12 月 7 日（木）から 12 月 22 日（金）
誤) 2017 年 12 月 7 日（木）から 12 月 16 日（土）
2. 植生学会運営委員会規則の改定日
正) 2017 年 12 月 22 日 改定
誤) 2017 年 12 月 16 日 改定
3. 植生学会運営委員会規則の施行日
正) 2017 年 12 月 23 日 改定
誤) 2017 年 12 月 17 日 改定

IV 会員移動（2017 年 12 月から 2018 年 4 月まで）

1. 新入会員（* 学生）
八巻 克己
2. 退会
梨本 真, 竹田正博, 溝口拓朗, 梶原洋一, 兼田侑也, 辻秀之, 三宅 尚, 小田 毅, 大塚孝一, 津山幾太郎, 早坂大亮, 関 太郎, 館野真澄, 大曾根陽子, 菊池輝海, 大杉拓人, 村上知帆, 白田麻純
3. 宛先不明
奥田 賢, 前川恵美子, 黛 絵美, 本川悠平, 増田知美, 牧口陽介, 守 容平, 二神良太, 森 英樹, 池田 茂, 新其楽園, 仲山真希子, 羽二生亜衣, 片桐浩司

V. 植生学会誌校閲者

以下の方々（敬称略、五十音順）には 2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日までの間に受理または不採択（取り下げを含む）となった論文の審査にあたっていただきました。ここに記してお礼申し上げます（* は植生学会員以外）。

浅見佳世, 富士田裕子, 深町篤子, 畑 憲治*, 比嘉基紀, 平吹喜彦, 磯谷達宏, 加藤ゆき恵, 小柳知代*, 黒田有寿茂, 野寄玲児, 大野啓一（横浜）, 岡 浩平, 酒井 敦, 笹木義雄, 清和研二*, 鈴木伸一, 竹原明秀, 徳岡良則, 津田 智, 内田圭, 植村 滋, 和田美貴代